

令和4年度 南アルプスユネスコエコパーク推進事業 実績報告



ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパークとは、「自然と人間社会の共生」を目的として、ユネスコが認定する取り組みです。具体的には、「地域の自然と文化を守りながら、地域社会の発展を目指す取り組み」で、世界では「生物圏保存地域（BR：Biosphere Reserves）」と呼ばれます。

ユネスコエコパークの3つの機能



保全機能

生物多様性の保全上重要な地域であること。



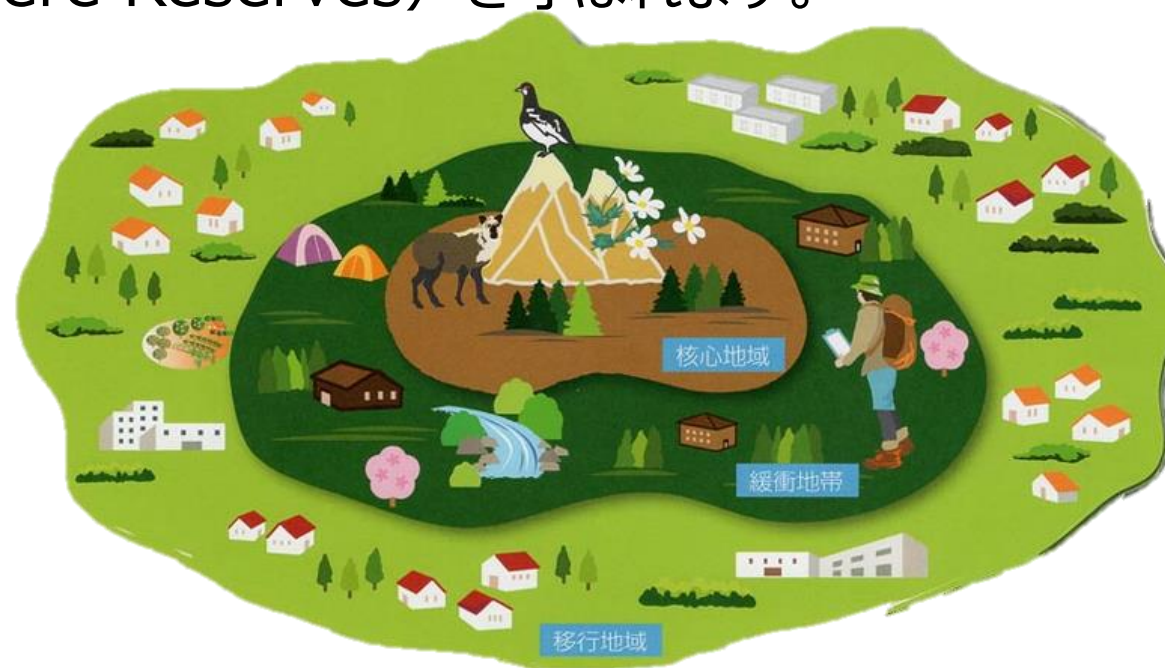
学術支援

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。



経済活動

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取り組みが行われていること。



■ 核心地域 ■
自然を守る

山、動物、植物などの大切な自然がたくさんあるところ

■ 緩衝地帯 ■
自然を知る・感じる

自然の中で景色を楽しんだり学習したりするところ

■ 移行地域 ■
自然と暮らす

自然を活用しながら人が暮らしているところ

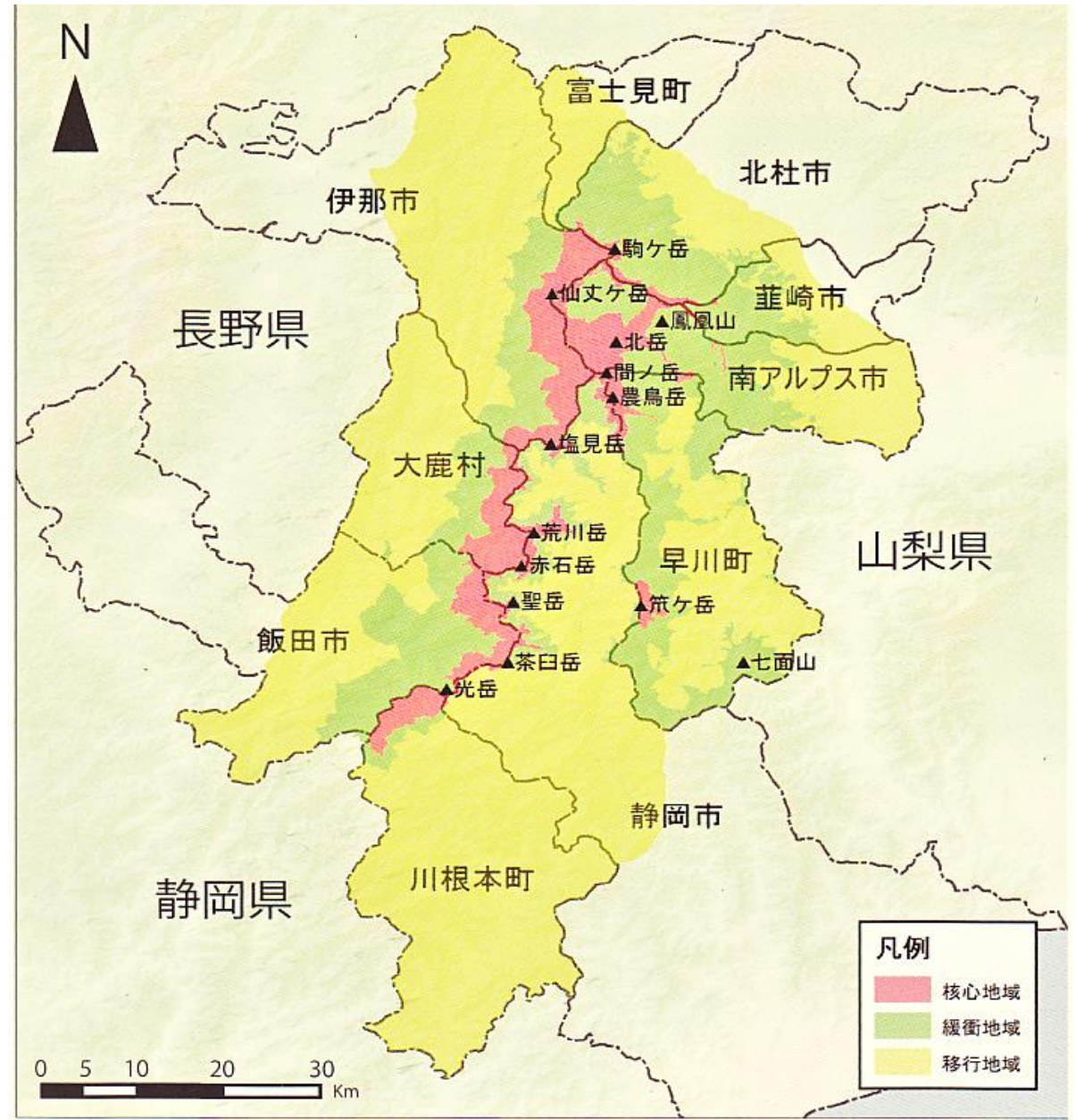
南アルプスユネスコエコパークの概要

【登録日】

平成26年6月12日

【登録エリア】

山梨県、静岡県、長野県にまたがる、日本最大のエリアを持つエコパークで、山梨県では、北杜市のほか、南アルプス市、韮崎市、早川町が登録されています。そのうち北杜市は、武川町と白州町が南アルプスユネスコエコパークのエリアになります。



令和4年度 南アルプスユネスコエコパーク関連事業

事業名	科目	予算額	決算額
市1-1 森林整備等財産区活動支援事業	消耗品費	1, 270千円	1, 155千円
市1-2 白州町地下水保全・利用対策協議会モニタリング事業	委託費	320千円	200千円
市4-1 PR・情報発信事業	広告費他	1, 474千円	1, 125千円
市5-1 関係市町村との連携事業	負担金他	861千円	783千円
地1-1 環境保全普及啓発事業	補助金	800千円	196千円
地2-1 文化継承事業	補助金	600千円	455千円
地3-1 動植物保全活用次世代育成事業	補助金	500千円	473千円
地4-1 地域の魅力掘り起し事業	補助金	640千円	613千円
地4-2 PR・情報発信事業	補助金	100千円	39千円
地その他 その他（会議運営費等）	補助金	65千円	25千円

※市：市実施分 地：地域連絡会実施分 1：環境保全、2：文化教育、3：動植物保全活用、4：産業振興・PR、5：自治体連携

令和4年度 南アルプスユネスコエコパーク 主な実施事業

市1-1 森林整備等財産区活動支援事業

■ 予算額 1,270千円 決算額 1,155千円

白州町並びに武川町内の財産区、保護組合の森林保全活動の支援を行いました。

豊かな森が、きれいでおいしい水を育み、里山の様々な活動に潤いを与えてくれます。下草刈りや樹木の枝払い、道づくりの環境整備などに必要な物品購入に活用しています。

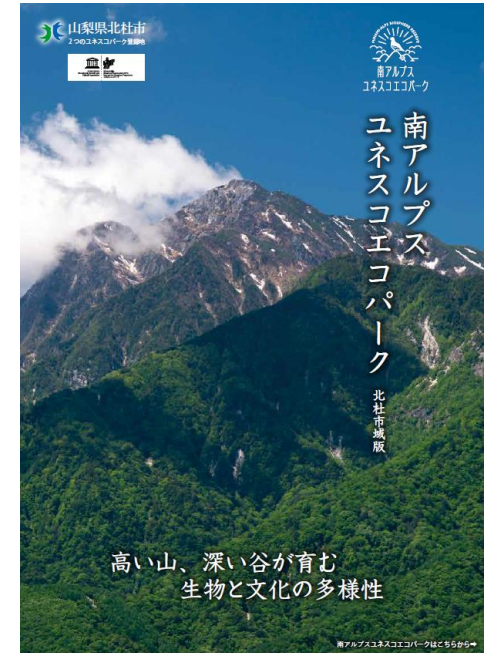
市4-1 PR・情報発信事業

■ 予算額 1,474千円 決算額 1,125千円

南アルプスユネスコエコパークエリアをPRするため、広告やパンフレット、ノベルティの作成を行いました。

広告については、高速バスの背面ラッピングや新聞での周知を行いました。

また、ユネスコエコパークの概要や取組を紹介したパンフレットを作成し、市内各所で配布を行いました。



令和4年度 南アルプスユネスコエコパーク 主な実施事業

地1-1 環境保全普及啓発事業

■ 予算額 800千円 決算額 196千円

中山展望台周辺をより魅力的なものにするために、毎年苗木を植え、花や紅葉が楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

令和4年度はミツバツツジ、ヤマツツジ、モミジの苗を計100本植えました。今後も苗の生育状況や鳥獣被害がないかを見守っていきます。



地2-1 文化継承事業

■ 予算額 600千円 決算額 455千円

過去の災害を後世に伝えようと、昭和34年の災害に関する「治水興郷」碑についての紹介看板を設置しました。今後は、紹介看板を活用しながら過去の災害の教訓を伝え、災害に対する備えを啓発していきます。

そのほか、自元寺での写仏・座禅体験会や、小中学生への学習会などを行いました。



令和4年度 南アルプスユネスコエコパーク関連事業

地3-1 動植物保全活用次世代育成事業

■ 予算額 500千円 決算額 473千円

次世代を担う子供たちに環境保全や生物多様性の重要性について知ってもらうため、総合学習の時間を使って、大武川と尾白川に生息する水生生物の調査を行いました。



地4-1 地域の魅力掘り起し事業

■ 予算額 640千円 決算額 613千円

中山や日向山では、人の歩行や水の流れによって侵食されてしまった登山道が見られます。周りの倒木や石、木の根などを使って、自然の構造を再現するように施工する「近自然工法」を用いて登山道の整備を行いました。

また、南アルプスユネスコエコパークの魅力を知ってもらうため、中山でハイキングイベントを開催しました。

中山砦では遺構の説明を行い、頂上では武川米等を景品としたクイズ大会を行い、昼食には武川米のおにぎりとミネラルウォーターを配布し、快晴の中での充実したハイキングとなりました。



今後も南アルプスユネスコエコパークをPRし、このエリアの素晴らしさを市民に再認識してもらうとともに、後世に守り伝えるため、市民、企業、団体が一体となり事業を進めてまいります。